



効きめいわいわ。



高品質野菜・花づくりのパワー

**サンマイト<sup>®</sup> フロアブル**

殺ダニ・殺虫剤

®は日産化学(株)の登録商標

## 特長

- 1.ハダニの卵、幼虫、若虫、成虫の各ステージおよびサビダニ、ホコリダニに速効的に効果を示します。
- 2.コナジラミ類の卵、幼虫、成虫の各ステージにすぐれた効果があります。
- 3.特に近年問題になっているタバココナジラミ バイオタイプQにも卓効を示します。

## ■適用病害虫と使用方法

\*本剤及びピリダベンを含む農薬の総使用回数

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用回数*	使用方法
かんしょ さといも えだまめ あずき きゅうり すいか メロン	ハダニ類 コナジラミ類	1,000~1,500倍 1,000倍 1,000~2,000倍 1,000~1,500倍 1,000~1,500倍 1,000~1,500倍 1,000~1,500倍 1,000倍 1,000~1,500倍	100~300 l/10a	収穫前日まで 収穫21日前まで 収穫14日前まで 収穫7日前まで 収穫前日まで 収穫3日前まで 収穫前日まで 収穫開始 3日前まで みようが(花穂)の 収穫前日まで※1	2回以内 1回 2回以内 2回以内 1回 2回以内 1回 1回 2回以内 2回以内	散布
	ハダニ類			収穫前日まで		
	コナジラミ類			収穫3日前まで		
	アブラムシ類			収穫前日まで		
	うどんこ病			収穫前日まで		
	コナジラミ類			収穫前日まで		
	うどんこ病			収穫3日前まで		
	アブラムシ類			収穫前日まで		
	ハダニ類			収穫開始 3日前まで		
	コナジラミ類			みようが(花穂)の 収穫前日まで※1		
いちご みょうが(茎葉) みょうが(花穂) せんぶり しそ しそ(花穂) 食用ざく きく(葉) ふき しじとう にがうり しょくようほおずき	ワタアブラムシ チャノホコリダニ シクラメンホコリダニ			収穫前日まで		
	ハダニ類			収穫75日前まで	1回	散布
	ハダニ類			収穫21日前まで		
	シソサビダニ			収穫14日前まで		
	ハダニ類			収穫21日前まで		
	アブラムシ類			収穫30日前まで		
	ハダニ類			収穫14日前まで		
	2,000倍			定植前		
	ハダニ類			収穫前日まで		
	アブラムシ類			収穫3日前まで		
茶	1,000倍	400l/10a	200~400 l/10a	摘採14日前まで	2回以内	散布
	1,000~1,500倍					
	1,500倍					
	カンザワハダニ チャノキヨラザミウマ	1,000倍				
	チャノミドリヒメヨコバイ チャノナガサビダニ チャノホコリダニ	1,000~2,000倍				
きく	ハダニ類 アブラムシ類	1,000倍	100~300 l/10a	—		
カーネーション	ハダニ類					
ポインセチア	コナジラミ類					

※1 但し、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで

※2 但し、花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する



ナミハダニ



カンザワハダニ



ワタアブラムシ



タバココナジラミ(幼虫)



タバココナジラミ(成虫)

●使用前にはラベルをよく読んでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。

本資料は2018年7月現在の登録内容に基づいています。



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号  
ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>  
お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00~17:30 土日祝日除く)

- 成分:ピリダベン…20.0%
- 毒性:医薬用外劇物

## 使用上の注意事項



- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切ってください。
- 本剤は植物体への浸透移行性がないので、かけ残しのないように葉の裏表に十分に散布してください。
- ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないようにていねいに散布してください。
- 本剤の連続散布はハダニ類の本剤に対する抵抗性を発達させるおそれがあるので、できるだけ年1回散布とし、他の殺ダニ剤との輪番で使用してください。
- 茶に使用する場合、1~2葉期における銅水和剤との混用は薬害を生ずるおそれがあるので、混用はさけてください。
- きゅうり、メロンに使用する場合、施設内の極端な高温時や幼苗期では、新葉に薬害を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけてください。
- なすには果実の垂れや葉の黄化症状を生じる恐れがあるので、付近にある場合はかかるないように注意して散布してください。
- さといもに使用する場合、葉に薬害を生じるおそれがあるので、高温時の散布は避けしてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかかるないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
- ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかかるないようにしてください。
- ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用を避けてください。
- ③関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ、調節してください。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物又はその新品种に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。